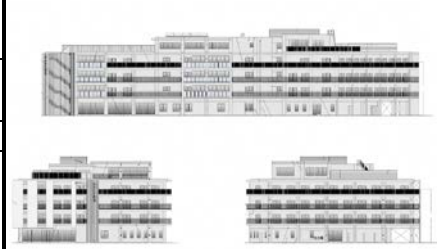




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護老人福祉施設わかたけ都筑新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県横浜市都筑区川和町19番地1	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年9月8日
敷地面積	3,137 m <sup>2</sup>	作成者	大平 剛資
建築面積	1,820 m <sup>2</sup>	確認日	2021年9月14日
延床面積	7,169 m <sup>2</sup>	確認者	竹田 一雄



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 81% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 81% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 81% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 開口部遮音性能: T-2以上。建物全体・共用部分: 2.5% ≤ [昼光率]。住居・宿泊部分: 1.25% ≤ [昼光率]。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 個室10㎡/床。0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数53.46%。 植栽をして良好な景観を形成している。 空地率41.89%。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> = 0.75。 BEI <sub>m</sub> = 0.76。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物に対して81%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



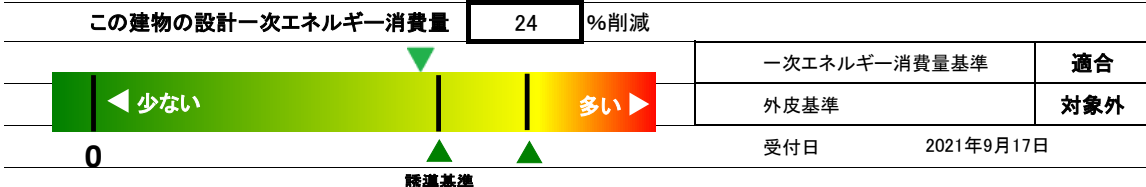
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **介護老人福祉施設わかたけ都筑新築工事**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

BPI<sub>m</sub> = 0.75

BEI<sub>m</sub> = 0.76

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

建物全体・共用部分: 2.5% ≤ [昼光率]。住居・宿泊部分: 1.25% ≤ [昼光率]。

JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
介護老人福祉施設わかたけ都筑新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
							評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 屋光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
<b>Q2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
<b>3 対応性・更新性</b>									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									

# CASBEE<sup>®</sup> 横浜 | 評価結果 | 3-069



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
介護老人福祉施設わかたけ都筑新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
介護老人福祉施設わかたけ都筑新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	3.3		
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	3.7		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	3.7	0.50	-	-	3.7		
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価		-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	2.9		
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2		
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	3.0		
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3		
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-		
1 消火剤		-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	3.2		
1 地球温暖化への配慮		3.7	0.33	-	-	3.7		
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-		
2 振動		-	-	-	-	-		
3 悪臭		-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-		
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-		
<事務用途>				-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-		
健康と安心				-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	-	-	-	-	-		